

10

LINKtopos2021の開催について

公立大学学生ネットワーク / LINKtopos2021 in IWATE 岩手県立大学運営チーム

該当する
原則

原則 6 : 人々の国際市民としての意識を高める

原則 10 : 異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く

1. LINKtopos (リンクトポス) とは

2012年、東日本大震災のボランティア活動を契機に全国から集まった公立大学の学生が、「復興支援や防災について、全国に同じ思いを持った仲間がいる」ことに気づき、自分たちの支援活動についてさらに話し合うことを目的に「公立大学学生ネットワーク」が組織された。全国公立大学学生大会「LINKtopos」は、その学生達が主体となって年に一度全国から集い、災害支援、防災、地域活動等をテーマに、ワークショップ等を通じて研鑽・交流を図る機会である。“LINK”は英語でつながり・連携、“topos”はギリシャ語で場所という意味がある。

LINKtoposは、一般社団法人公立大学協会の支援のもと、2013年の第1回大会を「学生が考える地域の未来」をテーマに岩手県立大学で開催されて以降、毎年度全国で持ち回り開催されているほか、北海道・東北地区など

全国6ブロック単位でも交流活動を行うなど、大学の枠を超えた学生のネットワークとして受け継がれている。

2. LINKtopos2021のテーマに 込めた思い

2021年は、東日本大震災から10年という節目の年である。震災当時の小学生が大学生となり、これから社会に羽ばたこうとしている時期である。岩手県立大学にとっても、LINKtoposの始まりとなった第1回大会以来の開催校である。

あれから10年、参加者それぞれにとってどんな日々だったか、感じたこと、考えたことを振り返り、これからを考えるきっかけにつなげる大会にする、そんな学生たちの思いからLINKtopos2021のテーマは「あれから、これから」になった。



主催：公立大学学生ネットワーク 共催：一般社団法人公立大学協会

LINKtopos2021 in Iwate

あれから、これから

東日本大震災から10年。「災害」は、いつどこだって起こり得る。
災害が起きる前にできること、災害が起きたとき、コロナ禍の対策。
一度立ち止まって、考えてみよう。
自分なら何が出来る。自分たちなら何をする。

日時：9月15日(水)10:00~18:00
16日(木)10:00~14:40
会場：岩手県立大学よりZoom開催
(参加費無料)

LINKtoposとは・・・
災害支援・防災にとどまらず、地域活動を行っている学生らが全国から集まり、ワークショップ等を通じて研鑽、交流を行っています。

備考：問い合わせはこちら → linktopos2021@gmail.com

SNSで随時発信中

QRコードとSNSアイコン (Twitter, Instagram, Facebook)

LINKtopos2021ポスター

3. LINKtopos2021の開催概要

LINKtopos2021は、2021年9月15日～16日の2日間、Zoomを活用したオンライン形式で開催した。また開催前日の2021年9月14日には、希望者を対象にoViceを活用したポスターセッションを行った。

LINKtoposのメインのプログラムは、ワークショップである。今回のワークショップでは、「配慮・ケア」、「復興・まちおこし」、「コロナ禍における地域活動」の3つの小テーマを設定し、それぞれのテーマに関する講演をゲストスピーカーから聞いた後、「これまでを振り返り、これから起こりうる災害や自分たちの活動・生活に還元するためのポスター作り」に取り組んだ。3つの小テーマごとに分かれて議論し、検討すべき課題の解決策や行動計画をGoogleスライドやGoogleドキュメント等を用いて作成し、2日目に発表する時間を設けた。9月15日～16日のタイムスケジュールは次の通りである。

〈1日目〉

時刻	内容
10:00～10:25	開会式
10:25～10:55	アイスブレイク
10:55～12:00	ゲストスピーカー講演
12:00～13:00	昼食
13:00～13:30	質疑応答・感想共有
13:30～17:50	ワークショップ
17:50～18:00	諸連絡

〈2日目〉

時刻	内容
10:00～10:05	諸連絡
10:05～12:00	ワークショップまとめ・最終発表 (テーマごと)
12:00～13:00	昼食
13:00～13:55	ワークショップ全体発表 (各テーマ1グループ選出)
13:55～14:00	休憩
14:00～14:10	OB・OG講評
14:10～14:40	閉会式

4. LINKtopos2021の開催を終えて

LINKtopos2021の参加者数は、学生92名、教職員40名、参加大学数22校であった。参加者からは、「全国の学生と交流ができた」「運営の方々の熱意が伝わってきた」「この大会がきっかけで防災や災害支援に対する視野が広がった」等の声が寄せられた。また「時間にゆとりが欲しかった」「ワークショップの班のメンバー以外にも交流したかった」等、より深い交流やつながりを求める声も出された。

LINKtopos2021に参加した学生が、全国の大学生とつながり、新たな知見を得ることで、日々の生活の中で新たに気付く価値観、人や地域とつながることで得られる力、そして継続的かつ発展的な復興支援等、一人ひとりが考えるきっかけとなったのなら幸いである。また、これまで全国の大学生が繋いできた復興への想いを「あれから、これから」のテーマに凝縮し、岩手県立大学から全国に発信できたことは、被災地の公立大学が行う伝承活動の1つの役割を果たせたとも言える。

最後に、LINKtopos2021に関わった全ての学生、大学関係者、公立大学協会関係者に心から感謝するとともに、LINKtoposの継続、そして新たな発展を願う。



公立大学学生ネットワーク、LINKtopos企画チーム委員の皆さま